

中学生の「税についての作文」及び、小学生の「税に関する書道・ポスター」の募集事業について

次代を担う中学生及び児童の皆さんに、税を身近に感じ、自分たちと税がどのように関わっているかを正しく理解してもらおう趣旨から、国税庁・全国納税貯蓄組合連合会・兵庫県納税貯蓄組合連合会等が主体となり事業を実施しています。

近畿納税貯蓄組合
総連合会 会長賞



北阿万小6年 前川 陽紀

兵庫県納税貯蓄組合
総連合会 会長賞

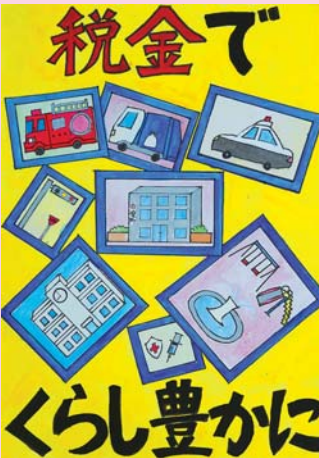


由良小6年 太田 音羽

兵庫県納税貯蓄組合
総連合会 優秀賞



志筑小5年 梶田 有哉



松帆小6年 浅井 蒼一郎



浦小6年 田村 萌々菜

公益社団法人
淡路納税協会 会長賞



松帆小5年 眞野 楽々

淡路納税貯蓄組合
連合会 会長賞



由良小6年 辻 礎楽

兵庫県納税貯蓄組合
総連合会会長賞

六年 納税
近本 詩織

大野小6年 近本 詩織

六年 納税
森本 優芽

市小6年 森本 優芽

六年 納税
瀧 陸斗

塩田小6年 瀧 陸斗

六年 納税
長野 葵

石屋小6年 長野 葵

兵庫県納税貯蓄組合
総連合会優秀賞

五年 完納
野口 真央

洲本第二小5年 野口 真央

公益社団法人
淡路納税協会会長賞

五年 納税
平野 心奈

洲本第二小5年
平野 心奈

六年 納税
奥野 悠真

洲本第三小6年
奥野 悠真

六年 納税
西山 心結花

洲本第三小6年
西山 心結花

六年 税金
下川 竣太

加茂小6年
下川 竣太

六年 完納
笹本 陸叶

大野小6年
笹本 陸叶

五年 完納
秋田 蓮

大野小5年
秋田 蓮

六年 納税
山本 美來

由良小6年
山本 美來

六年 納税
榎本 光花

八木小6年
榎本 光花

六年 税金
引野 桃花

学習小6年
引野 桃花

五年 税金
赤羽根 祭里

一宮小5年
赤羽根 祭里

洲本市長賞

五年 納税 石田有希乃
広石小5年 石田有希乃

南あわじ市長賞

六年 納税 清水紗英
市小6年 清水紗英

淡路市長賞

六年 納税 折田和泰
浦小6年 折田和泰

淡路納税貯蓄組合連合会会長賞

六年 納税 石田葵生
洲本第一小6年 石田葵生

六年 納税 静山脩生
洲本第一小6年 静山脩生

五年 納税 西邑優凜乃
洲本第一小5年 西邑優凜乃

六年 納税 久保田弓月
洲本第二小6年 久保田弓月

六年 納税 明石莉緒
洲本第三小6年 明石莉緒

六年 納税 岡田鈴里
洲本第三小6年 岡田鈴里

六年 納税 岡野友奏
洲本第三小6年 岡野友奏

五年 納税 道添瑠菜
洲本第三小5年 道添瑠菜

五年 納税 山本力也
洲本第三小5年 山本力也

六年 納税 衣川綾乃
大野小6年 衣川綾乃

六年 納税 楠ころな
広石小6年 楠ころな

五年 納税 濱田杏
広石小5年 濱田杏

六年 納税 岡田華緒
松帆小6年 岡田華緒

六年 納税 殿脇綾
松帆小6年 殿脇綾

六年 納税 藤井えれん
松帆小6年 藤井えれん

六年 納税 高山桜愛
榎列小6年 高山桜愛

五年 納税 正木心音
榎列小5年 正木心音

六年 納税 山本裕舞
八木小6年 山本裕舞

六年 納税 前川陽紀
北阿万小6年 前川陽紀

六年 申告 郷武葵來
阿万小6年 郷武葵來

六年 税金 牧寺杏
浦小6年 牧寺杏

五年 税金 井筒夕夏
石屋小5年 井筒夕夏

五年 納税 平川結実
一宮小5年 平川結実

入賞作品抜粋「あわじ島税の作品カレンダー（令和5年度版）」を配布します。希望者は淡路納税協会へ。

兵庫県租税教育推進連絡協議会賞

「私がもし政治家だったら」

兵庫県立洲本高等学校 3年 廣田和花奈

私は7月中旬に18歳となり、選挙権を得ましたが、今回の参議院選挙には間に合わず、投票することができませんでした。この選挙に自分の意見を反映させることができず、とても残念に思いました。

政治は、国民が納めた税金を使って行われています。そして、私たちが投票で選んだ代表者がその税金の使い道を決めています。だから、私たちが政治や税金の使い道について無関心であれば、社会は変わらず、私たちの生活もよくなっていかないのです。

そこで、私がもし政治家だったら、国民の代表者として、どんな税制改革を行い、どんな社会にしたいのかを考えてみることにしました。

まず、不祥事が取り沙汰されることが多い政治家の優遇措置についてメスを入れなければならないと思います。例えば、JRの無料パスの廃止、議員の定数や報酬の削減、議員の定年制の導入などについて考えるべきだと思います。

他にも、不必要な公共事業をやめて税金の無駄使いをなくし、待ったなしのコロナ禍への対応や少子高齢化対策、災害対策など、本当に必要なところに税金を使うべきです。

また、消費税についても検討する必要があると思います。イギリスでは消費税は20%ですが、食料品には掛けられていません。しかし、日本は食料品にも8%の税が掛けられ、生活困窮者に、より多くの重荷がかかっています。このような不公

平をなくすため、食料品やオムツ、トイレットペーパー、生理用品などの生活必需品については、税率をもっと下げるか、ゼロにしてはどうでしょうか。一方で、今の消費税を10%から上げることも考えなければならないと思います。生活必需品が安く買えるようになれば、生活にある程度ゆとりができ、経済が回っていくと考えます。

私は、これまで税金について学んでいく中で、たくさんの方が税について、マイナスイメージを持っていることを思い知りました。

それは、税金の使い道が実感できないことや子どもの頃からの租税教育を行う環境が整っていないことが原因だと思います。

だから、小学校に『税金』の授業を設けて低学年にはクイズやゲーム、かるたで税について楽しく学んだり、高学年からは、税金の使い道を具体的に『見える化』して示し、小学生一人に一年間で約90万円の教育費が税金で賄われていることなどを実感させることが大切だと思います。他にも中学生には、トライやる・ウィークで、高校生にはインターンシップで実際に税務署の仕事を体験し、税の仕組みを知ることで、税への理解と関心を深めていくことが必要だと思います。

私たちの社会は税によって支えられ、税の恩恵なしでは生活できません。全ての方が笑顔で暮らせる社会にするため、私も大人としての自覚と責任を持ち、私に何ができるのかをよく考え、行動していきたいと思っています。